

令和3年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 美濃市地域公共交通会議

平成21年3月23日設置

平成25年6月 美濃市地域公共交通計画策定  
（計画期間：平成25年度～令和4年度までの10年間）

令和2年7月28日 フィーダー系統 確保維持計画策定

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>利用者アンケートから得られた結果を分析し、更なる利便性や効率化の向上を目的とした取組が協議され、実施されることを期待する。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者アンケート等により、課題や改善すべき事項が明らかになってきているが、<b>協議が十分に進んでいない</b>。</li><li>・デマンドタクシーの課題を補完する定時定路線型による新路線の検討を行っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和4年度以降に、法定計画を策定する予定であることから、計画に合わせて議論を深め、利便性の向上等に関する施策の検討と実施を図ります。</li></ul>
<p>高速名古屋線が令和2年10月より中濃庁舎止まりとなり、現在の通学定期補助者に影響はないと思われるが、今後の状況や利用拡大に向け、必要に応じ協議が重要と考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・停留所付近にある無料駐車場の存在を広報紙等で周知し、<b>パークアンドライドでの利用を促している</b>。</li><li>・観光客等の利便性向上を目指し、<b>新たなバス路線の検討</b>を行っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用拡大につながる新路線の検討を進めています。</li><li>・停留所の環境改善に関する要望もあるため、事業者との調整に努めます。</li></ul>
<p>地域公共交通活性化再生法改正の趣旨を理解し、現連携計画を法定計画へ早期に移行することを期待する。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在の独自計画の期間が満了することから、<b>法定計画を策定する方針を固めている</b>。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・岐阜県や隣接自治体の計画との整合性を図りながら、法定計画の策定を進めます。</li></ul>

### 美濃市の地域特性と概要

- 人口：約19,250人(国勢調査)
- 高齢化率：36.2%
- 特徴：森林が面積の約8割を占める。  
市南部(平野部)の人口集積が高く、北部は谷あい集落が分布する。

### 公共交通の取組の背景

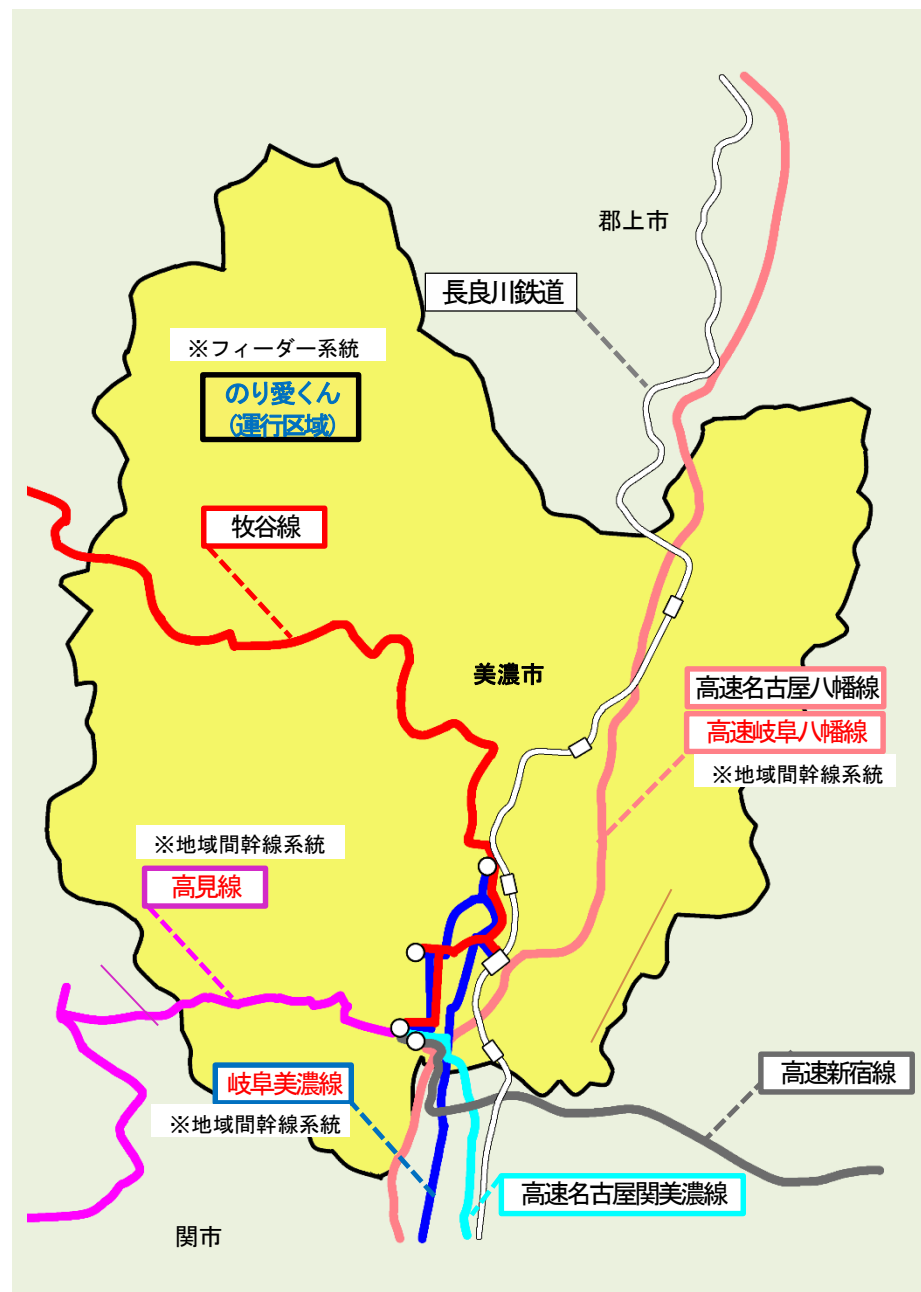
- コミュニティバス運行開始【2003年】
- スクールバスの待機時間を活用した無料市街地循環バスの試験運行【2011年】
- 予約型乗り合わせタクシー「のり愛くん」運行【2013年】(試験運行は2012年～)

### 美濃市の公共交通計画

- 計画期間10年の任意計画(H25～R4)  
・鉄道、バス、乗り合わせタクシーが、相互に補完し合う、合理的な公共交通ネットワークの形成を図る。

### 美濃市の公共交通

- 地域間幹線系統：岐阜美濃線、高美線、高速岐阜八幡線
- 鉄道：長良川鉄道(5駅)
- 高速バス：名古屋関美濃線、名古屋郡上八幡線、新宿線
- 廃止代替バス：牧谷線(関市との共同運行)



	利用者目線による利便性の向上のための施策	利用促進を誘導する施策	地域づくりと一体となったマイバス意識を高める方策
<p><b>予約型乗り合わせタクシー「のり愛くん」</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者アンケート実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度開始から毎年実施</li> <li>・ニーズを把握し、委託事業者との情報共有</li> <li>→内容改善につなげる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回数券の販売</li> <li>●<b>期日前投票時の利用料の無料化</b></li> <li>●広報紙での制度周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミーティングポイントの見直し                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の要望等に応じた柔軟な対応 (R3年予定・3か所)</li> <li>・自治会長会議で説明</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>その他 (鉄道、バス路線)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>牧谷線のダイヤ改正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長良川鉄道への乗り継ぎの利便を確保</li> <li>・対象地域の高校生に対し、<b>Webアンケートを実施</b></li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>高速名古屋線通学乗車券補助制度の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度対象者の拡大</li> <li>・広報紙での制度周知 (高速バス停付近の<b>無料駐車場の周知</b>など)</li> </ul> </li> </ul>	

岐阜バス 牧谷線に関する

## WEBアンケート 協力をお願い

「牧谷線 (朝の便)」で、こんなことが起きています。

【課題】 ①バスと鉄道のダイヤが悪く乗り継ぎができません!!

【現状】 7:29 岐阜駅前 → 3分 伏木 → 7:32 美濃市駅前

【解決策】 バスのダイヤを5-10分早くすれば、乗り継ぎに必要な時間ができるのでは?!

牧谷線の路線区域 (洞戸、上牧、下牧地区など) にお住まいの皆さんを対象にしたアンケートを実施します。

アンケートの回答にあたって

- ① 右のQRコードを読み取り、アンケートにお答えください。(QRコードにあるURLを直接入力してもアクセスできます。)
- ② お答えいただいた内容は統計的に処理し、今後の事業推進に活用させていただきます。(個人の目的に使用することはありません。)

WEBアンケートの受付期間

7月19日(月)~8月20日(金)

この件に関する問い合わせ先 美濃市役所・総合政策課 (☎0575-33-1122)

▲ 高校生向けWebアンケート(チラシ)

## お知らせ

岐阜バスからのお知らせ

10月から高速バス(名古屋線)のバス停が変わります

- ◆バス停が変わる路線/岐阜バス・高速名古屋線
- ◆高速名古屋線の変更点
  - ▷美濃市からの発着がすべて「中濃庁舎バス停」になります。
  - ▷美濃市内のバス停が3か所になります。

これまで(主なバス停)	10月1日から
美濃市駅	中濃庁舎
うだつの町並み通り	
美濃小倉公園前	高速美濃バス停前
美濃市役所	
美濃病院	中有知
中有知	

▷関市内のコースが変更され、名鉄バスセンターまでの所要時間が短縮されます。(これまでどおりの路線も一部、残ります。)

▷中濃庁舎発着の便数が増えます。

◆高速バス利用時に使える無料駐車場

▷高速美濃バス停近くに、市の無料駐車場がありますので、ここからの乗車が便利です。

※詳しくは、岐阜バス美濃営業所(☎33-2151)または総合政策課(内線342)まで

▲ 高速名古屋線に関する広報 (無料駐車場の案内)

## 乗り合わせタクシー「のり愛くん」

▶ 停留所の移設などの相談に応じます

〈停留所の現状〉  
設置総数 / 259か所

※停留所は「一般停留所」と「公共施設や医療機関などに設置する目的停留所」の2種類に分かれる。

〈停留所の設置基準(新設、移設時)〉

- ▶年間を通して利用が見込まれる場所で、かつ、地域の合意が得られていること
- ※効率的な運行のため、利用者がいない場所への設置は行っていません。
- ▶車両が安全に停車できる場所であること
- ※法律で駐車が禁止されている場所や許可の得られていない私有地への設置は行っていません。
- ▶近くの一般停留所と200メートル以上、離れていること
- ※車庫は「タクシー」ですが、効率的な運行や経費の面から「バス」に近い扱いで運用しています。

▶のり愛くん利用のための「出前講座」開催できます

いざというときに利用ができるよう、利用方法に関する説明会を要望に応じて開催します。

▲ ミーティングポイントの移設に関する周知 (自治会長会議等で案内)

地域公共交通確保維持改善計画における定量的な目標とその結果

- 目標 1 : 予約型乗り合わせタクシー「のり愛くん」の**利用者数**

R2年度	実績値	目標値	達成状況
利用者数	36,601人	46,000人	<b>未達成</b>

- 目標 2 : 予約型乗り合わせタクシー利用者**アンケートによる満足度**  
(5段階評価のうち上位2段階と評価した利用者の割合)

R2年度	実績値	目標値	達成状況
割合	57%	60%以上	<b>未達成</b>

※令和2年度の目標値は令和元年度の地域公共交通確保維持改善計画で設定

結果に関する考察と今後の方針

- 年間利用者数の減少について (考察)
  - ・ 新規利用者が増えていない。
    - 利用者の年齢層が高年齢化、運転免許返納者の利用が全体の2割程度という利用者アンケートの結果より推測
- 利用満足度の低下について (考察)
  - ・ 予約が取りづらい、ミーティングポイントが遠いなど複合的な理由による
    - 利用者アンケートの自由記載事項にある回答結果より推測
- 今後の方針について
  - ・ **ミーティングポイントの見直し** → 新設、移設等を自治会・事業者と連携し柔軟に実施
  - ・ **新規利用がしやすい環境づくり** → 出張制度説明会を希望により開催

※令和3年6月25日の地域公共交通会議で協議した

## 予約型乗り合わせタクシー「のり愛くん」

## 【課題】

- ① 利用者数の減少
  - ・ 新規利用者が増えていない
- ② 実際の運用
  - ・ 予約、待ち時間、料金体系など
- ③ ミーティングポイントの設定
  - ・ 位置、環境など
- ④ 委託事業者
  - ・ 経営基盤の低下



## 【対応方針】

- ①～④ 明確な対応方針が定まっていない。
  - 〈検討の方向性〉
    - ・ 運転免許返納者への対応
    - ・ 予約管理システムの見直し
    - ・ ミーティングポイントの見直し、整備  
(ラストワンマイルへの対応方針、いすの設置など)
    - ・ 委託費用の見直し、委託事業者の本業  
(タクシー)の活用支援

## 市の公共交通ネットワーク全般

## 【課題】

- ① 高速バスの停留所減少
  - ・ 市街地へのアクセスが困難
- ② 定時定路線への回帰志向
  - ・ フルデマンド方式の反動
- ③ 都市圏間への移動の選択肢
  - ・ 移動手段が選べない
- ④ 長良川鉄道の運営
  - ・ 自治体負担費用額の増加



## 【対応方針】

- ①～③ 定時定路線の試験運行を検討中
  - ・ 関シティターミナルを拠点とし、都市圏への移動手段を増加
  - ・ 高速バスと連携し、市街地への移動を可能
  - ・ 市街地内の主要箇所を巡回
- ④ 沿線市町であり方を協議
  - ・ 段階ごと(首長から担当者まで)での検討を継続



### 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和4年1月20日

協議会名： 美濃市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行（航）区間、整備内容等を記載（陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助（調査検討の経費を除く。）を受けている場合は、その旨記載）】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C 評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C 評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか（方向性又は具体的な内容）を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
美濃タクシー株式会社 久愛商事有限会社	乗り合わせタクシー 区域運行（市内全域）	地域の実情に応じたミーティングポイントの見直しを実施し、利便性の向上に努めている。また、アンケートで意見のあった「予約の取りづらさ」などの原因についてヒアリングを行った。 昨年度の事業評価において評価を得た「継続的な利用者アンケート実施によるニーズ等の把握」を、令和3年度も継続して実施し、利用者のニーズ、満足度の把握に努めた。	B ミーティングポイントの見直しについては、地域の意見を聞きながら必要な箇所への設置等対応を行っている。 地区での利用説明会の開催について自治会等に提案をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催ができなかった。	C ====【年間利用者数】==== 目標：46,000人 実績：36,601人（未達成） 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年度の利用者数36,848人と同水準にとどまった。  ====【利用者アンケートの満足度】==== 満足度（5段階評価の内、上位2段階）の割合 目標：60%以上 実績：57%（未達成） 上位2段階（満足、やや満足）のうち、満足と回答する割合は例年と変わらなかったものの、やや満足と回答する割合が減少した。（5段階中の3段階「普通」が増加） 乗り合わせタクシー「のり愛くん」の運行開始から8年が経過し、利用者の中で現状のサービスレベルが当たり前と感じるようになってきていると考えられる。	車両等の新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施し、安心して乗ることができる環境を維持する。 各地区での利用者説明会の開催については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、継続して協議、実施していく。 また、利用者アンケートや普段乗り合わせタクシー「のり愛くん」を利用する機会のない一般市民向けに実施した「公共交通アンケート」の結果をもとに、今後の課題についての協議を地域公共交通会議で進め、現行の公共交通の見直し等を行う。この内容等を令和4年度以降の策定を予定する「法定計画」に反映していく。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月20日

協議会名：	美濃市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	平成25年6月に美濃市地域公共交通計画を策定(平成25年度～令和4年度)。公共交通の将来像として公共交通のサービス水準、「市内の各地域から中心市街地へは、直通で30分を目安に移動できること」、「市内の各地域から市外へは、直通もしくは1回の乗り継ぎで移動できること」の2点を設定し、誰もが安全に安心して自由に移動できる公共交通を確保し、効率的かつ効果的な運行をすることを目標としている。